

《「こんにちは訪問」を実施しました》 ～地域の皆さまの声を、発電所の業務運営に活かしてまいります～



6月12日(月)から23日(金)にかけて、地域の皆さまに発電所に関する情報をお知らせし、ご意見をいただく対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

平成6年の開始から31回目となる今回は、発電所員延べ約200人が、女川町と石巻市の牡鹿半島の約3,900戸を訪問させていただきました。

対話活動の中で、皆さまからいただいた貴重なご意見は、発電所の業務運営に活かしてまいります。



これからも、こうした地域の皆さまと直接お会いする活動や発電所の見学会などを通して、丁寧な対話活動に取り組んでまいります。

地域総合事務所
菊池 裕之 (仙台市出身)

地域の皆さまが、原子力発電の安全性や必要性について関心を寄せていただいていることを改めて感じました。これからは安心していただけるよう努めてまいります。



保全部 大規模改良グループ
遠藤 正幸 (丸森町出身)

《防火帯の設置工事を進めています》

発電所では、現在、防火帯の設置工事を進めています。

防火帯の設置工事は、万一、敷地周辺で森林火災が発生した場合、発電所構内の重要な施設への延焼を防ぐため、幅20m、長さ約3kmにわたって構内を取り囲む形で設置することとしています。このため、周辺斜面の伐採や耐火性に優れたモルタル*の吹き付けなどを実施するものです。

発電所では火災対策として、消防車なども備えています。これらの取り組みにより、防火対策をさらに進めてまいります。 ※モルタル：砂とセメント、水を混ぜた材料



防火帯(水平距離20m)

防火帯の設置工事状況



土木建築部 土木グループ
菊地 慶太 (名取市出身)

発電所敷地周辺の森林火災に備え、工事を進めています。今後も安全を最優先に工事を実施してまいります。

《「第16回 東北電力図画コンクール」募集スタート》

当発電所では、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。今年も以下のとおり図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

テーマ 想像の海の生きものたち 「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう！

募集期間 7月22日(土)～8月31日(木)

対象 小学生以下の皆さん

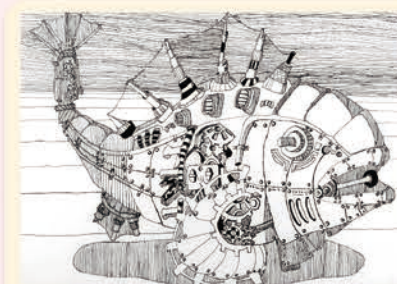
表彰 最優秀賞/1名、優秀賞/7名
各審査委員特別賞/9名、奨励賞/20名

※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

用紙 A4(210mm×297mm)の画用紙に描いてください。

一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。

ご応募にあたって
・絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
・貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
・応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。・応募作品の返却はいたしません。



昨年の最優秀賞

「スチームフィッシュ」
木村 匠意さん(石巻市)

お問い合わせ先

女川原子力PRセンター内「東北電力図画コンクール」事務局 TEL/0225-53-3410
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123 開館時間/9:30～16:30
休館日/毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)・年末年始

《ローズガーデンフェアを開催しました》

女川原子力PRセンターでは、6月1日(木)から30日(金)までローズガーデンフェアを開催しました。センター内の「スイートガーデン」には、県内でも有数の約70種類ものバラが植えられており、「しあわせのバラのトンネル」など今年も見事な花を咲かせました。

期間中は、バラを背景に撮影した写真のプレゼントや「ミニバラを使った寄せ植え教室」、「バラいっぱいフラワーアレンジメント教室」を開催しました。

館内には、小さなお子さま連れでも安心して楽しめるコーナーも用意しております。また、秋にはイベントの開催も予定しておりますので、ぜひ女川原子力PRセンターへ足をお運びください。



「しあわせのバラのトンネル」



様々な色のミニバラを使った寄せ植え

《女川原子力発電所の安全対策を紹介するYouTube動画を公開しました》

7月7日(金)より、YouTubeの当社公式チャンネルにて動画『女川原子力発電所の安全対策「常に備える。」』の公開を開始しました。ぜひご覧ください。

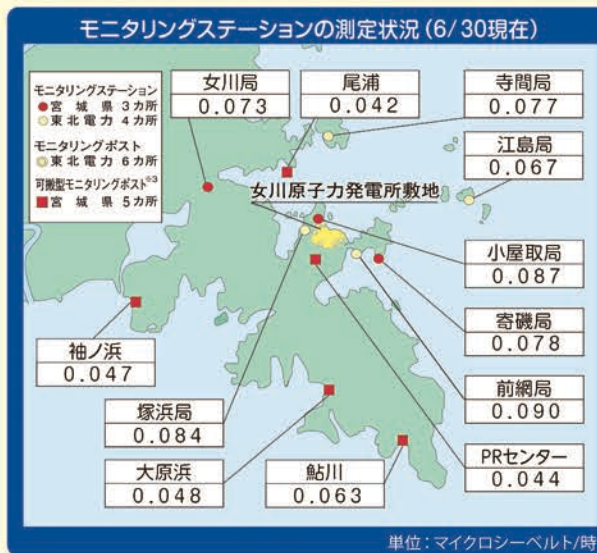
●東北電力YouTube公式チャンネル

アドレス：<https://www.youtube.com/channel/UCG4KK1iSIFOTThRaWehDWxAQ>

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト^{*1}やモニタリングステーション^{*2}で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.060マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

《東北地方太平洋沖地震発生日》
平成23年3月11日 0.027~0.064

《地震発生後最大値》
平成23年3月13日 1.8~21^{*4}

《地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値》

平成24年 4月1日	0.063~0.098
平成25年 4月1日	0.055~0.076
平成26年 4月1日	0.046~0.065
平成27年 4月1日	0.043~0.077
平成28年 4月1日	0.041~0.061
平成29年 4月1日	0.038~0.059
平成29年 6月1日	0.037~0.061
平成29年 6月30日	0.039~0.060

単位：マイクロシーベルト/時

^{*1} モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

^{*2} モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

^{*3} 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

^{*4} 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

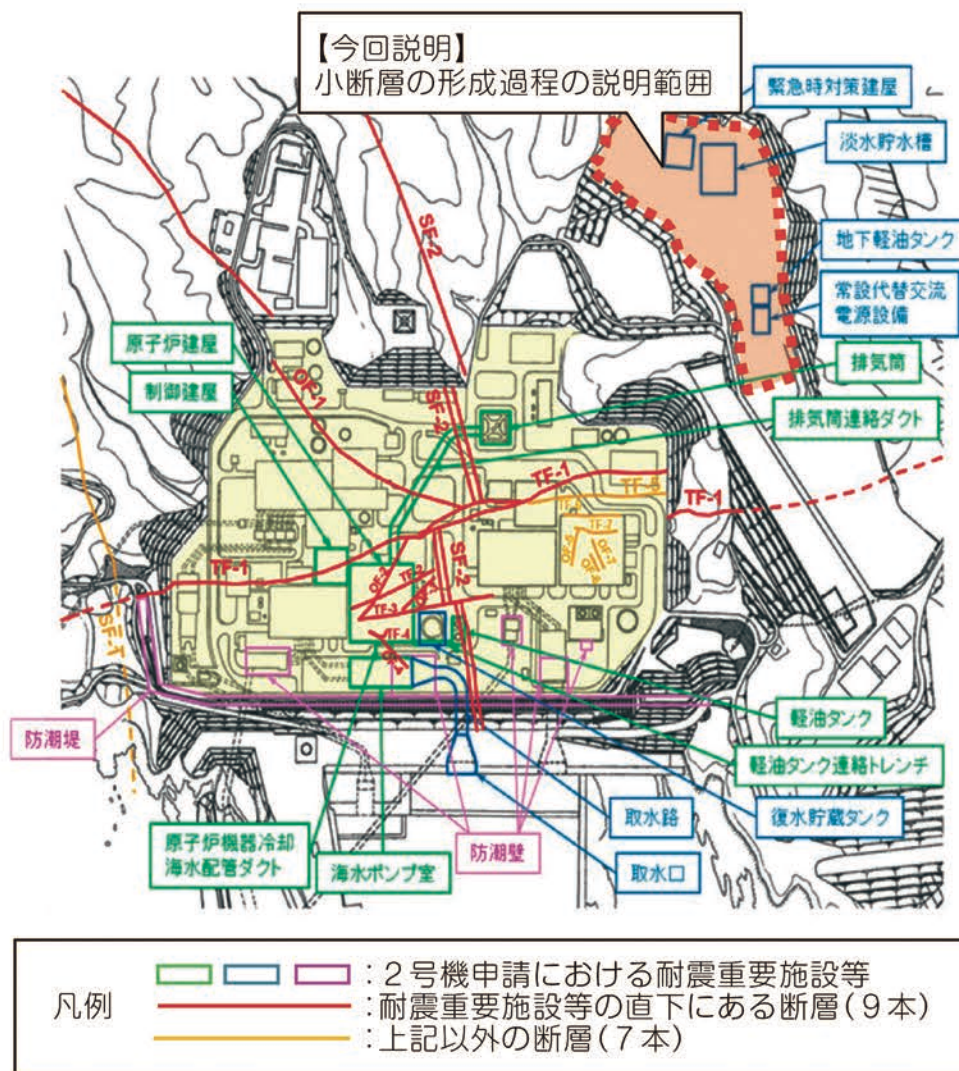
《敷地の地形、地質・地質構造について》

女川2号機の適合性審査では、敷地の地形、地質・地質構造について審議されています。
(平成29年6月9日)

前回の審査会合(平成29年3月24日)では、高台に建設予定の緊急時対策建屋等の施設周辺に分布している小断層に関し、形成過程の説明を求められたことなどから、文献調査やこれまでの調査結果の再整理を行い、小断層の形成メカニズムと形成時期について説明しました。

具体的には、将来活動する可能性のある断層として評価されるのは約12~13万年前以降に活動した断層とされておりますが、この断層が形成された時期は1億年以上前とはるかに古いものです。

当社からの説明に対し、原子力規制委員会からは、概ね妥当な検討がなされていると評価されました。



審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。 **東北電力 女川審査会合**